

平成30年度保育所等訪問支援事業 事業報告

(1) 訪問支援利用(契約)者数

	新規契約者数	継続契約者数	訪問支援契約者総数
平成30年度	16名	9名	25名
平成29年度	14名	10名	24名

(2) 年齢別利用状況

	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	中学生	合計
平成30年度	0名	1名	4名	2名	7名	11名	0名	25名

(3) 訪問支援施設

訪問先	保育園	幼稚園	小学校	児童クラブ	合計
平成30年度	12名 (9園)	2名(2園)	10名(7校)	2名 (2クラブ)	25名 (20施設)
平成29年度	12名 (9園)	5名(4園)	7名(6校)	—	24名 (17施設)

*1名に対して重複箇所(小学校と児童クラブ)への支援あり

(4) 支援開始時の主な主訴

集団活動参加困難 10名、他害 7名、登校・登園渋り、不登校 5名、発達の遅れ 2名、分離不安 2名

(5) 訪問支援を紹介された機関

相談支援事業所15名、市すくすく子育て課4名、児童発達支援事業所3名、松風園内検査1名、学校1名、保育園1名

(6) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
30年度	延べ利用人数	6名	10名	12名	11名	7名	14名	11名
	延べ訪問回数	6回	10回	12回	11回	8回	14回	12回
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度
30年度	延べ利用人数	13名	10名	12名	14名	16名	136名	121名
	延べ訪問回数	13回	10回	12回	14回	16回	138回	124回

(7) 訪問支援以外の関係機関のカンファレンス 14回 6名について

○地域啓発事業について

・ペアレント・トレーニングについて

平成30年度も、ペアレント・トレーニングを実施しました。ペアレント・トレーニングは、保護者が子どもにわかりやすい具体的で効果的な対応を身に付けることで、親子ともに自己有能感を持ち日常生活が穏やかに送れるように保護者をサポートするための連続講座です。保護者が子どものもつ困難さを理解し、親子がより良いコミュニケーションで家庭生活を送れるようになることをねらっています。地域での育ちを支援する保育所等訪問支援と並行し、家庭での育ちを支援する目的で実施しています。

毎回前回の振り返りや宿題の報告をし、その日のテーマについて講義し、ロールプレイを実施しました。ロールプレイには、保護者に子ども役を体験してもらうことで子どもの気持ちを理解してもらうこと、また、保護者役を体験することでご家庭でもすぐに実践できるようにというねらいがあります。

全10回の講座をとおして、保護者が子どもの行動に注目できるようになり、穏やかに日常生活を送れるようになったという感想が聞かれました。平成31年度は、プログラム内容を9回にし、少しでも短期間でペアレント・トレーニングを実施し、親子ともに自尊心を持ち日常生活がより穏やかに送れるようにサポートしていきます。

平成30年度 ペアレント・トレーニング実施報告

(1)利用時の状況

利用者総数
5名

(2)年齢別利用状況

就学前	小学生	合計
1名	4名	5名

(3)プログラム内容

第1回	オリエンテーション
第2回	肯定的な注目を与えよう
第3回	好ましくない行動を減らす①
第4回	好ましくない行動を減らす②
第5回	子どもの協力を増やす方法①
第6回	子どもの協力を増やす方法②
第7回	子どもの協力を増やす方法③
第8回	制限を設ける
第9回	学校・園との連携
第10回	これまでのふりかえり

・ティーチャーズ・トレーニングについて

平成27年度から、ペアレント・トレーニングを保育者向けに改良したティーチャーズ・トレーニングを実施しています。目的はペアレント・トレーニング同様、保育者が子どものもつ困難さを理解し、より良いコミュニケーションで保育園生活を送れるようになることです。平成30年度は、児童クラブの職員対象にプログラムを行いました。指導員に、対象とする児童2名を挙げてもらい、その対象児に対してティーチャーズ・トレーニングで学んだ技法を実践してきてもらい、それを宿題として報告してもらいました。また、ロールプレイで、子ども役、指導員役両方を体験してもらい、日々の実践にすぐに生かせるようにしました。午前中の児童の登所時間前にクラブに訪問し、実施しました。

全6回の講座終了前と終了後で、クラス運営に関する自己評価のアンケートを実施したところ、終了後はほぼすべての項目の得点が上昇し、クラス運営に自信を持つことができたと示されました。ティーチャーズ・トレーニングは、発達障がいのある子どもへの対応方法を身に付けることはもちろん、指導員のクラス運営における効力感に寄与できたといえます。平成31年度も、地域で生活する子どもたちへの正しい理解と対応方法の啓発のために取り組んでいきたいと思います。

平成30年度 ティーチャーズ・トレーニング 実施報告

(1)実施状況

実施園	参加人数	実施期間
北大和児童クラブ	10名	平成30年12月～平成31年3月

(2)プログラム内容

第1回 オリエンテーション
第2回 肯定的な注目を与えよう
第3回 好ましくない行動を減らす①
第4回 好ましくない行動を減らす②
第5回 子どもの協力を増やす方法①②
第6回 制限を設ける、総まとめ

・発達障害についての研修会等への講師派遣

地域支援の一環として関係機関からの依頼に応じて講師を派遣しました。

実施状況

派遣先(研修会主催者)	派遣日	会場	内容
大和市自閉症児・者親の会	4月～3月 第1土曜日	市保健福祉センター	自閉症連続勉強会レインボー (家庭や現場での具体的な対応を演習を通して検討する)
福田小学校	7月27日	福田小学校	児童指導研修会「ティーチャーズトレーニングの活用」
神奈川県自閉症児者親の会連合会	7月28日～ 8月1日	ウイリング横浜	自閉症療育者のためのトレーニングセミナー
座間市障がい福祉課	8月2日	座間市サニープレイス	気になる子への支援を考えるPart2
教育支援グループEd. ベンチャー	8月31日	シリウス	「ティーチャーズトレーニング」とは
	9月14日		「ティーチャーズトレーニング」体験
大和市特別支援教育 研修会	10月31日	市勤労福祉会館	視点の共有＝保護者連携～「行動」を見る～
県立海老名支援学校	3月27日	海老名支援学校	ケーススタディ